

(社会教育課)

指定管理者による施設運営を行っている県立青少年教育施設2所（朝霧野外活動センター・三ヶ日青年の家）について、外部評価委員会を設置し、その管理運営が健全・安全かつ、適切に行われているか、令和6年度事業の評価を行った。

役職	立 場	氏 名	所 属
委員長	学 識 経 験 者	渋 江 か さ ね	静岡大学 准教授
委 員	利用者代表 (学校)	金 子 直 由	浜松市立三ヶ日中学校 校長
委 員	利用者代表 (学校)	松 田 佳 典	富士宮市立井之頭小学校 校長
委 員	危機管理専門家	楠 城 一 嘉	静岡県立大学グローバル地域センター特任教授
委 員	海洋活動専門家	鉄 多 加 志	東海大学海洋学部 准教授
委 員	野外活動専門家	小 林 透	日本ボートカウティング静岡県連盟 事務局長
委 員	財 務 専 門 家	兼 高 則 之	公認会計士 兼高会計事務所

開 催 日		会 場	協 議 内 容
第1回	5月9日(金)	三ヶ日青年の家	評価項目・評価方法確認、 施設視察及びヒアリング
第2回	5月15日(木)	朝霧野外活動センター	施設視察及びヒアリング
第3回	6月6日(金)	県庁	評価決定

年度		H19～21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	2	3	4	5	6
朝霧	期	第1期 (3年間)	第2期 (5年間)					第3期 (5年間)					第4期 (5年間)				
	指定管理者	日本キャンプ協会グループ															
三ヶ日	期		第1期 (3年間+1年間)				第2期 (5年間)		第3期 (5年間)				第4期 (5年間)				
	指定管理者		(株)小学館集英社 プロダクション				三ヶ日フィールドパートナーズ										

令和6年度 青少年教育施設指定管理者外部評価委員会 評価結果

＜朝霧野外活動センター＞

◇ 9段階評価ポイント

評 価 項 目		評価ポイント		
		R6 年度	R5 年度	R4 年度
評 価 の 総 括		A	A	A
項 目 別 評 価	① 青少年教育施設として安全・安心に利用できる施設の管理	A	A	A
	② 青少年教育施設として安全・安心に利用できる施設の運営	A-	A	A-
	③ 青少年の健全な育成を図る事業の運営	A	A	A
	④ 利用者への適切な対応	A	A-	A-
	⑤ 青少年教育施設としての目的にあった活動の展開	A+	A+	A+
	⑥ 安全な野外活動実施のための取組について	A	A	A
	⑦ 提案や要望に対する実行状況	A	A	A

(参考) 9段階評価ポイントの意味

記 号	意 味	その他
A	十分満足できる	A B C に対し、必要に応じて＋ －の付加記号を付ける。
B	おおむね満足できる	
C	努力を要する	

◇ 評価の総括 【9段階評価 A】

- ・周囲の環境を生かした事業、青少年教育施設としての目的にあった事業が提供されている。
- ・利用者の満足度も高く、所員の専門性を評価する声がある。
- ・アレルギーへの対応を評価する声が複数見られるものの、より確かな対応をお願いしたい。
- ・常時電話で連絡が取れる体制に関し、他の青少年教育施設にも同様の問題があるように思われる。そのことに関してどのように対応しているか、情報提供してもらい対策を考えてみることも必要である。
- ・令和6年度は、県委託料収入の増加により収入がやや増加し、物価高、人件費増の中で支出増加を収入増加の範囲内に収めたことで、収支差はプラスに転じた。なお、運営代表団体の財務状態は、特に問題はないと思われる。

◇ 要望項目

なし

◇ 項目別評価

①青少年教育施設として安全・安心に利用できる施設の管理 〔 9段階評価 A 〕

- ・青少年教育施設として安全・安心に利用できる施設の管理は、十分満足できるものである。
- ・施設の整理整頓、衛生美化に努め、職員自身で施設改善できるところは自分たちで改善を行っており、清潔かつ安全が保たれていることは評価が高い。
- ・利用者から個別意見があれば、今後も適宜現場対応をお願いしたい。

②青少年教育施設として安全・安心に利用できる施設の運営 〔 9段階評価 A- 〕

- ・食堂に関し利用者からの評価は高い。物価高騰の中、工夫をこらした内容のものが提供されている。
- ・食堂運営のうち、アレルギーへの対応を評価する声が複数見られる中、未然に防止されたものの1件の事案が生じた。すでに原因の究明と再発防止策を講じているが、徹底に努めていただきたい。

③青少年の健全な育成を図る事業の運営 〔 9段階評価 A 〕

- ・立地や自然を生かした様々な野外活動プログラムがとても充実しており、安定した利用に繋がっている。
- ・ナビゲーションスポーツ、オリエンテーリング、キャンプなどをはじめ、朝霧のイメージを高める活動が展開されることで施設の魅力が高まり、多くの利用者に親しまれる施設となっている。
- ・プラネタリウムやスケート場を利用した事業はとても魅力的であり、ぜひ今後も継続してもらいたい。

④利用者への適切な対応 〔 9段階評価 A 〕

- ・利用者アンケートによる満足度が高く、所員によるプログラムの提案やアドバイスなど、適切な対応が十分に行われていると判断できる。
- ・利用団体に対する施設側担当者が不在でも、所内で情報が共有できているため、事前確認がしやすくなっている。

⑤青少年教育施設としての目的にあった活動の展開 〔 9段階評価 A+ 〕

- ・キャンプの考え方を根幹に置き、日本の野外活動の拠点とした教育やアクティビティ、新しいスタイルの創造など、研修会の参加者や教育機関と連携し醸成している事業を高く評価したい。
- ・多種多様な利用者の教育目的が達成できるよう、利用者に合わせた支援を行うための意識が高い。
- ・キャンプ技術、キャンプカウンセリング、リスクマネジメントについて訓練されたスタッフが在住し、青少年教育施設の目的にあった主催事業を実施している点が評価できる。

⑥安全な野外活動実施のための取組について 〔 9段階評価 A 〕

- ・利用者に対する安全指導については、安全講習会や事前にヒヤリハット事例を公開して事故の抑止に努めている。
- ・所に責任のない、利用者の理由による医療機関への搬送が必要となったケガ及び体調不良は8件であった。どこまでの範疇で、関係するエリア内で発生する傷病事例を抑え込むのかという課題に関しては、今後も対応を模索して検討を重ねていただきたい。所員の意識が高く、整っている危機管理体制だからこそ、このような事例が重大事故に至っていないと認識している。

⑦提案や要望に対する実行状況 〔 9段階評価 A 〕

- ・提案や要望に対し、積極的に適切な対応をしている。
- ・常時電話で連絡が取れる体制の確立は、昨年よりは改善されている。達成は難しいと思われるので、A Iの活用など他の手段も合わせて引き続き検討していただきたい。
- ・学びの森と宝山のトイレが使用出来ない時は利用者に対し、アナウンスをすることが望ましい。